

地域計画

策定年月日	令和 7 年 3 月 31 日
更新年月日	令和 年 月 日 ()
目標年度	令和 16 年度
市町村名 (市町村コード)	丹波市 (28223)
地域名 (地域内農業集落名)	山南町谷川 (谷川11区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	17.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	17.1 ha
② 田の面積	16.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.7 ha
(参考)区域内における〇〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

谷川11区は山田地域と笛路地域の2つの山間地域からなる集落である。周囲を山に囲まれた谷間の農地は獣害が多発し、農業に従事する若者が減少した1970年頃は廃農せざるを得ない状況であった。地域の農業に危機感を抱いた集落は、共同事業により獣害防護柵を設置し、2つの地域の特性や後継者問題等を考慮した農地管理の取組みを開始した。山田地域は不耕作農地を大地農園(アジサイ栽培)に委託、笛路地域は急傾斜地を活かし、平成12年度よりマスタープランを樹立し中山間地域等直接支払交付金制度を利用したり、農村ボランティア交流事業や新規就農の受入れを行っている。これらの取組みにより、農業者が増え地域内不耕作地が減少する等、確実に成果が現れてきている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

【該当する項目に☑を記載】
<input type="checkbox"/> ①当地区は水稻を主に、農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ②当地区は水稻を主に、特産の丹波大納言小豆、黒大豆等を拡大していく。 <input type="checkbox"/> ③地区内外の認定農業者・集落営農組織等に農地の集積・集約化を進める。 <input checked="" type="checkbox"/> ④新規就農者を積極的に受け入れる体制作りを進める。 <input type="checkbox"/> ⑤施設、果樹等の高収益作物の導入を進める。 <input type="checkbox"/> ⑥農業を担う者への農地の再配分を進めることができるよう、必要な条件整備を実施する。 <input type="checkbox"/> ⑦地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。 <input type="checkbox"/> ⑧山裾の農地について、適地等の判断を行い丹波栗等に転換していく。 <input type="checkbox"/> ⑨多面的機能が維持できる農地管理を行う。(放棄田発生防止) <input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他(同)丹波笛路村と2名の新規就農者を中心に農地管理を行っていく。)

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
【該当する項目に☑を記載】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、集落営農法人、農業法人)への農地の集積・集約化を図る。		
<input type="checkbox"/>	②担い手以外の農業を担う者にも地域のバランスを考えながら農地利用を進める		
<input type="checkbox"/>	③その他()		
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	41 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
○ 担い手が利用する農地面積の団地数 ⇨		0箇所	平均 a
【該当する項目に☑を記載】 (令和 6 年度時点)			
<input checked="" type="checkbox"/>	団地数の半減及び団地面積の拡大を進める。	(令和 16 年度)	

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組			
【該当する項目に☑を記載】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①農地中間管理機構(農地バンク)を活用して、認定農業者や新規就農者等(担い手)を中心に集積・集約化を進める。		
<input type="checkbox"/>	②その他()		
(2)農地中間管理機構の活用方法			
【該当する項目に☑を記載】			
<input checked="" type="checkbox"/>	①農地中間管理機構を活用して、担い手等の経営意向をくみ取り、段階的に集積・集約化を進める。		
<input type="checkbox"/>	②その他()		
(3)基盤整備事業への取組			
【該当する項目に☑を記載】			
<input type="checkbox"/>	①地域のニーズを踏まえ、農地管理の効率化を図るためパイプライン等の基盤整備事業を進める。		
<input type="checkbox"/>	②担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を()年度までに実施する。		
<input checked="" type="checkbox"/>	③現在、基盤整備事業は考えていない。		
(4)多様な経営体の確保・育成の取組			
【該当する項目に☑を記載】			
<input type="checkbox"/>	①関係機関と連携し、地域内外から多様な経営体を募集する。		
<input checked="" type="checkbox"/>	②農地の貸し借り、斡旋等の相談から定着までを行う機能(組織)を設置する。		
<input type="checkbox"/>	③その他()		
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組			
【該当する項目に☑を記載】			
<input type="checkbox"/>	①水稻栽培に関しては設備投資を抑えるため、地区内の営農組織に依頼する。		
<input type="checkbox"/>	②水稻以外の農作業の効率化を図るため、農業支援サービス事業体へ作業委託する。		
<input type="checkbox"/>	③遊休農地発生を防止するため、作業遅れ等発生する場合は極力農業支援サービス事業体へ作業委託する。		
<input checked="" type="checkbox"/>	④その他(現在、中心となる経営体が農作業を行っているが、今後は農業支援を依頼することがあると思われる。)		

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ⑦(同)丹波笛路村と2名の新規就農者を中心に農地管理を行っていく。
- ⑩新規就農者をいち早く受け入れ、今後も受け入れ態勢を整えていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

谷川11区

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
1	利用者	切花用母樹ほか	1.89 ha	ha	切花用母樹ほか	1.89 ha	ha	1	
2	利用者	その他地力増進 作物・水稲ほか	1.42 ha	ha	その他地力増進 作物・水稲ほか	1.42 ha	ha	2	
3	利用者	水稲・小豆ほか	1.39 ha	ha	水稲・小豆ほか	1.39 ha	ha	3	
4	利用者	水稲・黒大豆ほ か	1.31 ha	ha	水稲・黒大豆ほ か	1.31 ha	ha	4	
5	利用者	水稲・小豆ほか	1.06 ha	ha	水稲・小豆ほか	1.06 ha	ha	5	
6	利用者	水稲・その他野 菜ほか	0.9 ha	ha	水稲・その他野 菜ほか	0.9 ha	ha	6	
7	利用者	水稲・その他野 菜ほか	0.9 ha	ha	水稲・その他野 菜ほか	0.9 ha	ha	7	
8	利用者	水稲ほか	0.86 ha	ha	水稲ほか	0.86 ha	ha	8	
9	利用者	水稲・小豆ほか	0.72 ha	ha	水稲・小豆ほか	0.72 ha	ha	9	
10	利用者	小豆・黒大豆ほ か	0.6 ha	ha	小豆・黒大豆ほ か	0.6 ha	ha	10	
11	利用者	水稲・小豆ほか	0.59 ha	ha	水稲・小豆ほか	0.59 ha	ha	11	
12	利用者	水稲・その他野 菜ほか	0.45 ha	ha	水稲・その他野 菜ほか	0.45 ha	ha	12	
13	利用者	水稲・食用ばれ いしよほか	0.43 ha	ha	水稲・食用ばれ いしよほか	0.43 ha	ha	13	
14	利用者	その他作物	0.42 ha	ha	検討中	0.42 ha	ha	14	
15	利用者	その他作物	0.41 ha	ha	検討中	0.41 ha	ha	15	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

谷川11区

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
16	利用者	水稲・その他野菜ほか	0.38 ha	ha	水稲・その他野菜ほか	0.38 ha	ha	16	
17	利用者	その他作物	0.37 ha	ha	検討中	0.37 ha	ha	17	
18	利用者	その他作物	0.34 ha	ha	検討中	0.34 ha	ha	18	
19	利用者	水稲・小豆ほか	0.33 ha	ha	水稲・小豆ほか	0.33 ha	ha	19	
20	利用者	水稲・その他野菜ほか	0.32 ha	ha	水稲・その他野菜ほか	0.32 ha	ha	20	
21	利用者	水稲ほか	0.24 ha	ha	水稲ほか	0.24 ha	ha	21	
22	利用者	その他作物	0.24 ha	ha	検討中	0.24 ha	ha	22	
23	利用者	その他作物	0.21 ha	ha	検討中	0.21 ha	ha	23	
24	利用者	その他作物	0.21 ha	ha	検討中	0.21 ha	ha	24	
25	利用者	水稲ほか	0.15 ha	ha	水稲ほか	0.15 ha	ha	25	
26	利用者	その他作物	0.14 ha	ha	検討中	0.14 ha	ha	26	
27	利用者	その他作物	0.1 ha	ha	検討中	0.1 ha	ha	27	
28	利用者	その他作物	0.1 ha	ha	検討中	0.1 ha	ha	28	
29	利用者	その他作物	0.08 ha	ha	検討中	0.08 ha	ha	29	
30	利用者	その他作物	0.08 ha	ha	検討中	0.08 ha	ha	30	
31	利用者	その他作物	0.08 ha	ha	検討中	0.08 ha	ha	31	

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

谷川11区

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
32	利用者	その他作物	0.07 ha	ha	検討中	0.07 ha	ha	32	
33	利用者	その他作物	0.07 ha	ha	検討中	0.07 ha	ha	33	
34	利用者	その他野菜ほか	0.05 ha	ha	その他野菜ほか	0.05 ha	ha	34	
35	利用者	その他作物	0.03 ha	ha	検討中	0.03 ha	ha	35	
36	利用者	その他作物	0.01 ha	ha	検討中	0.01 ha	ha	36	
37	利用者	その他作物	0 ha	ha	検討中	0 ha	ha	37	
合計			16.95 ha	ha		16.95 ha	ha		

